

## 特許出願公告及特許拔萃

### 特許出願公告拔萃

**自動畫鋸製造機** (10年特許公告第3263號、公告10-8-5、大阪市、高橋二郎) 構造簡單確實に作動し人手を省略し得る自動畫鋸製造機を得る目的を以て、ウォームに齧合するウォーム輪の軸にクランク軸を設けて摺動上下各版を昇降せしむべくし右端に於て摺動上版に切斷刀を設け下方カムにより上昇する錐を設け中央に於て摺動版に運動する送線器と偏心輪に依り會合する雌雄型切斷器とを設け左端に於て摺動上版に壓版を固着し摺動下版に中空壓版を設け夫々機臺に於て各相遭遇せしむべくしカムにより進退する梓版に連結せる運送版の上面に抱持片と固定せるローレットに一對をなせるローレットとを設け該版下方兩端に設けたるラック交互に扇形齒合せしむべくせる自動畫鋸製造機。

**シャルピー、アイゾット兩用衝擊試驗機** (10年特許公告第3269號、公告10-8-7、東京市、明石和衛) 何れの刀を使用するも振り桿の軸支部に反動を及さしむる事無く何れにも圓滑に作動せしめ得る目的を以て、振り衝擊試驗機の槌の中央部及下部に夫々シャルピー型の刀及アイゾット型の刀を設け且つ其の何れの刀の部分にもパークッションの中心を移動せしめ得る如く振り桿の一部に重錘を着脱或は昇降自在に裝備したる事を特徴とするシャルピー、アイゾット兩用衝擊試驗機。

**顯微鏡の對物鏡玉の照明裝置** (10年特許公告第3271號、公告10-8-5、獨逸國、カール、ツァイス、スチフツング) 大なる範圍に於て照明アパーチュア及照明野の大きさを變化せしめ且つ光の利用を良好ならしめんとする目的を以て、光源燈、集光器、及顯微鏡集光器を有する顯微鏡の被觀測物體の照明裝置に於て附加的光學系を具備し該附加光學系の少くとも一つの部體は照明光束の方向に移動することを得ると共に燈集光器と顯微鏡集光器との間に裝置せられ而して其の裝置の仕方は光源か燈集光器に依て燈集光器の光外出開口と附加的光學系の光外出開口との間に倒さに作像せられ而して此の倒さの光源像は附加的光學系に依て再び倒さにせられ而して可變の大きさに作像せらるる様裝置せられたる事を特徴とする裝置。

**鐵及鋼の錆除去法** (10年特許公告第3272號、公告10-8-5、大阪市、株式會社田中機械製作所) 從來の硫酸浴を使用する場合と異なり被處理鐵材の溶解に依る無益なる損出を防止し地肌を美麗ならしめ且作業中従業員の浴液の飛沫等に依る損傷危険を除去せんとする目的を以て苛性ソーダ溶液及硫酸アルミニウム溶液中にて被脫錆材を陰極として逐次電解處理に附することを特徴とする鐵或は鋼の錆除去方法。

**材料試驗裝置** (10年特許公告第3307號、公告10-8-5、東京市、波江野清藏) 任意の周波數の強力なる振動を簡易に發生せしめ煉瓦其他頑丈なる供試材料の横振動及縦振動の固有振動數を容易に檢出し材料に毀損其他の缺點を與ふる事なくして其の彈性的動作特性、内部的構造等を容易に知り得る目的を以て、可變周波數の振動電壓又は電流に依りて驅動せらるる、2個の機械的振動發生器の振動動子を供試材料の兩側に壓着して振動を發生せしめ其の兩振動發生器の振動子の振動位相を供試材料の兩側に於て互に同位相に又は互に逆位相に隨意に變更し得べからしめ其の時の振動電壓及其の周波數を讀み取り得る如く爲したる事を特徴とする材料試驗裝置。

**鑄鐵の如き多孔質易銹性金屬の防銹加工法** (10年特許公告第3336號、公告10-8-9、大阪市、菅原榮、他一名) 從來公知の防銹鍍金に依りしもの如く孔隙内に電解液の滲入すること無く鍍着鞏固にして剝落の憂なき防銹加工物を容易なる操作に依て得んとする目的を以て、鑄鐵其他の孔隙多き易銹性金屬表面にコロイド黒鉛と微粉狀鉛との棟搦物を擦着し金屬線刷子を以て磨擦することを特徴とし然る後任意の防銹性金屬を電鍍する鑄鐵の如き多孔質易銹性金屬の防銹加工法。

**硬質金屬薄板製造方法** (10年特許公告第3386號、公告10-8-12、神戸市、株式會社川西機械製作所) 槌打作業を施すことなく非常に薄く且面積大なる硬質金屬板を極めて簡易に製作せんとする目的を以て、細き硬質金屬線條を疊網狀に織成し之を高温狀態の下に壓延して一枚の薄き硬質金屬板を製造する方法。

**誘導電爐** (10年特許公告第3410號、公告10-8-14、東京市、安田徳治) 塊狀又は冷却せられたる材料を裝入するも作業開始に支障なく而も始動に際し他より豫め加熱熔融し置きたる二次回路を形成すべき液狀導電性資料を注入せずして開閉器の切換のみによりて容易に始動する誘導電爐を得んとする目的を以て、誘導電爐の一次捲線と其の外周に形成せる誘導溝の各外側若しくは内側に發熱體を裝置し其發熱に依り誘導溝に裝入せる導電性資料を熔融して二次回路たらしめ始動の初期に於て他より二次回路を形成すべき液狀導電性資料の注入を要せずして始動し得ることを特徴とする誘導電爐。

**誘導電氣爐保護裝置** (10年特許公告第3411號、公告10-8-14、株式會社芝浦製作所) 保護帶條に及す爐の誘導作用の影響を減し電氣爐の損傷に基き熔融物が漏洩するを警報保護する誘導電氣爐保護裝置を得る目的を以て、短絡二次回路を形成すべく導電層にて外鍍被覆したる絶縁被覆心導體を爐と爐捲線間に介在せしめ其の心導體と外鍍體間に保護繼電裝置を接続せる誘導電氣爐保護裝置。

**鑄物用合金** (10年特許公告第3427號、公告10-8-14、東京市、太田福太郎) 洋白と硬度外觀近似し且鑄造容易なる合金を得んとする目的を以て、Ni 15%~25%、Sn 10%~30%、Cu 30%~40%、Zn 20%~15%、シリコン 6%~8%、Al 10%~5% を含有することを特徴とする鑄物用合金。

**被鉛法の改良** (10年特許公告第3438號、公告10-8-16、東京市、横濱護謨製造株式會社) 壓出に際し熔融鉛の奔出を見ることなくして被鉛速度を増大せしむると共に熱に依る護謨質の損傷をなからしめんとする目的を以て、護謨ホース又はキャブタイヤケーブル製造等の被鉛工程に於て被鉛機の鉛室内に豫め他の適當なる型に依り型出せられたる鉛塊を填挿したる後熔融鉛を注入し該熔融鉛をして鉛塊及鉛室内の殘留鉛層に觸れしめて三者を合して一體となし之を速に凝固せしめつムラムにより壓出せしむる事を特徴とする被鉛法の改良。

**耐火プラスチック** (10年特許公告第3457號、公告10-8-16、東京市、大岩完藏) 凝固早く且龜裂の虞少き耐火性プラスチックを得んとする目的を以て、含有珪酸分60%以上其中30%以上は可溶性珪酸なるが如き耐火度高き白土〔例へば大分縣速見郡産の珪酸白土又は石川縣石川郡産の溶珪白土〕100部〔容量〕に約30部〔容量〕の鹽化石灰を水滴雨下の下に混合し加熱乾燥中約30~50部〔容量〕の消石灰を混和したるものを粉碎して成る耐火プラスチック。

**Al及びAl合金用電氣熔接棒** (10年特許公告第3470號、

公告 10-8-19、神戸市、株式會社川崎造船所) 電極として直流電流を通し Al 及び Al 合金に對し強度大なる熔接を遂行する目的を以て、Al 又は Al 合金棒に鹽化カリ 40~60 分鹽化リチウム 20~30 分及び弗化ナトリウム 20~30 分を塗布せることを特徴とする Al 又は Al 合金電氣熔接棒。

**鉛又は鉛合金の鍍金法** (10 年特許公告第 3486 號、公告 10-8-19、東京市、兩澤工業合資會社) 鍍着すべき熔融鉛自體を利用し其の熱度に依りて中間層の生成を行はしむることに依り原發明に比して全體の工程を單純ならしめ熔融鉛の鍍金を一層容易ならしめんとする目的を以て、Ni, Co 又は Cr 鹽の一種以上を含む溶液若は泥劑を被鍍金屬材料に塗布したる後之を熔融せる鉛又は鉛合金中に浸漬し其の熱に基く熱解離作用を利用して先づ塗布劑中の金屬を鍍着せしめ同時に之を中間層として其の上に前記熔融鉛若くは鉛合金の鍍着を行ふ事の特徴とする鉛又は鉛合金の鍍金法。

**耐酸性白色合金** (10 年特許公告第 3506 號、公告 10-8-21、大阪市、正木保) 耐酸性強く長時間人體に接觸するも變色腐蝕すること少き白色合金を得んとする目的を以て、Cr 10~20%、Mo 0.5~5%、V 3~8%、Si 0.1~3%、Cu 15~30%、殘餘 Ni 及不純物を含む耐酸性白色合金。

**電極の製法** (10 年特許公告第 3513 號、公告 10-8-21、福岡市、秋山英二) 熔融點高く耐摩耗性大に且つ電導度良好にして優秀なる電極を経済的に得んとする目的を以て、難融性金屬粉末又は之を主體とする合金粉末の壓搾體に半融操作を施し前記金屬又は合金自體を以て互に固く結合せる骨組體を構成せしめ之れに電導性良好なる金屬又は合金を浸潤せしむる電極の製法。

**電氣爐の電極折損防止裝置** (10 年特許公告第 3530 號、公告 10-8-21、名古屋市、林達夫) 電氣爐運轉中裝入材の不良狀態に於て電極を折損することなからしむる目的を以て、電氣爐電極を電極把持器によりて電氣爐變壓器の二次側に接続し正常狀態に於て上記把持器と接觸し電極と接觸せざる電極支持器に依り電極把持器を支持せしめ上記把持器より支持器を経て大地間に至る回路より供給せらるゝ電壓電磁石の可動鐵心と上記變壓器の二次回路より供給せらるゝ電流電磁石の可動鐵心との各一端を夫々天秤の兩腕に連結し他端は夫々直接又は間接に電極昇降裝置に連結し爐内裝入材の不良狀態に於ては電壓電磁石の吸引力を皆無ならしめ兩電磁石の吸引力の平衡破れて電極昇降裝置の作用に依り電極支持器のみを押下げて電極把持器との接觸を開かしむべく構成せることを特徴とする電氣爐の電極折損防止裝置。

**押潰し鋼線網** (10 年特許公告第 3532 號、公告 10-8-21、東京市、肝付兼三) 船底に粘着物を以て張付け海草貝類の附着を防止するものにして亦ペイント塗裝の龜裂を防止する場所に使用して有效なるの目的を以て、銅線或は合銅合金線を薄く押潰したる押潰し鋼線網。

**連續式伸線機の卷取裝置** (10 年特許公告第 3533 號、公告 10-8-21、名古屋市、淺井喜一) 線と卷取胴との間の滑りに依る種々の缺點を除かんとする目的を以て、連續式伸線機と卷取らるべき線との間に切口を有するリングを抱かしめリングと卷取胴との間を潤滑すべく卷取胴の内側に注油口を備ふる連續式伸線機の卷取裝置。

**電氣熔接棒に厚き被覆を施す方法** (10 年特許公告第 3550 號、公告 10-8-23、東京市、株式會社日立製作所) 唯一回の製作に依りて所望の厚き被覆を施し且乾燥を迅速容易ならしめんとする目

的を以て、被覆劑に適當の濃度を有する珪酸曹達及炭酸アムモニアの水溶液を混合して之を熔接棒の外周に被着し乾燥膠着せしむることを特徴とする電氣熔接棒に厚き被覆を施す方法。

**瓦斯及骸炭製造用蓄熱爐** (10 年特許公告第 3571 號、公告 10-8-26、獨逸國、ドクター、シー、オットー、アンド、カムパニー、ゲゼルシャフト、ミット、ベシユレンクテル、ハフツング) 瓦斯の移流に際して方向變換及速度變化に依り生ずることあるべき壓力差を除去し且瓦斯通路の抵抗を可及的に均等ならしめ瓦斯の移流を爐室より出づる蒸解瓦斯の分解を惹起せざる程度に迅速をならしめ以て爐の効率を増大せんとする目的を以て、交替的に並列配置せる爐室と加熱管列とを有し該加熱管列の中通氣變換に於て共働する二列の加熱管を其の間に介在する爐室上部に於て U 字形の移流通路に依り連通せしめ此の場合に該移流通路の垂直部分を漸次狹隘ならしむるものに於て前記移流通路を矩形的横斷面より圓形横斷面に移動せしめツグンチューリー管として構成し且該移流通路の横斷面積を其の内部に於て燃焼媒體の薄層狀流動を生ずる如く定むることを特徴とする瓦斯及骸炭製造用蓄熱爐。

**廢熱利用骸炭製造爐** (10 年特許公告第 3581 號、公告 10-8-26、佐世保市、小松太助) 連續的に發生する廢熱火焰を利用して連續的に製出せらるゝ骸炭の品質を向上せしめ而して廢熱を汽罐其他の加熱に利用せむとする目的を以て、汽罐其他の加熱に使用する回轉火格子又は他の適當なる機構に依り前方上部の漏斗より供給する原料石炭を自動的に火格子後方部に燃送すべくしたる火格子の上方には熱反射用アーチを設け火格子の上側部には視窓若くは視窓兼用上部給氣窓を設けたる爐の火格子後方下部に於て下方に適當なる骸炭採收口を具有する半製骸炭蓄積爐室を設け而して此爐室の壁外周圍に沿ひ通焰道を適當に回設し石炭は前方漏斗より供給し火格子面に於ては含有揮發分の半燃程度度の半製骸炭其儘該蓄積爐室に落移し火格子面及該爐室内より發生する火焰を該通焰道を通過せしむる道程に於て該爐室に蓄積せる半製骸炭に壁外よりの外熱を與ふべくしたる廢熱利用骸炭製造爐。

**出銑口閉塞機** (10 年特許公告第 3595 號、公告 10-8-26、東京市、日本製鐵株式會社) 簡單なる構造により最も有效に且つ安全確實に出銑口閉塞作用を行はしめ得る閉塞機を得んとする目的を以て充填唧子の後退に際し該唧子に直接聯動して強制的に嘴管が閉塞され前進に際しては充填唧子前方の充填物の受くる壓力が嘴管内の反對壓力以上に達したる時初めて開放さるゝ如き扇型遮止瓣を有すること並に自動的に下降し反對壓力には抵抗する如き蓋を有する充填物貯藏函を附屬せしめたることを特徴とする出銑口閉塞機。

**鑄鐵管砂搔落裝置** (10 年特許公告第 3614 號、公告 10-8-28、大阪市、久保田權四郎) 鑄鐵管を型枠中より容易且迅速に取出し得る裝置を得んとする目的を以て、鑄鐵管を保持する型枠を傾斜狀態に支持せしむる裝置と前記型枠の中に線を軸心として該型枠に對して關係的に廻轉する砂搔片を型枠の下端より其砂層中に突入せしめて漸次上部に達せしむる裝置とより成る鑄鐵管砂搔落裝置。

**自動車用瓦斯發生裝置** (10 年特許公告第 3636 號、公告 10-8-28、静岡縣富士郡、厚川正身) 下向式通風爐と上向式通風爐とを結合することに依り單位容積に付きての發生瓦斯の熱量を大ならしめんとする目的を以て、一箇の箱を區分し下向式通風爐、上向式通風爐、冷却室及清淨室を形成し上向式通風爐は下向式通風爐と冷却室との間に形成せられ此等兩爐は火床の下部に於て連通し以て下向式通風爐に充填せられたる有煙燃料より發生する瓦斯を更に上向式

通風爐に通過せしめ該上向式通風爐内の無煙燃料と共に更に燃焼すべく爲したる自動車用瓦斯發生装置。

**鑄鐵管及類似品の遠心力鑄造用鑄型支持装置の改良** (10年特許公告第 3654 號、公告 10-8-30、亞米利加合衆國、インタナショナル、デラヴオード、マニユファクチュアリング、コーポレーション、リミテッド) 廻轉鑄型内への金屬流込中に於て該鑄型温度の上昇に従つて變化の生ずるに拘らず鑄型と轉子との適當なる接觸を維持せしめ依て絶へざる轉子支持を持続し得せしむる目的を以て一組の轉子を有し之等の轉子を鑄型の圓周を圍り其の全長に互りて各々同一垂直面内に在らずして其末端を交互に重複せしむる如く配置し又之等の轉子を發條に依り鑄型に對して適當に支持し且つ之等を自由に廻轉せしめ得る鑄鐵管及類似品の遠心力鑄造用鑄型支持装置。

**鉛押出装置** (10年特許公告第 3675 號、公告 10-8-30、大阪市、株式會社住友電線製造所) 均質なる鉛構造物を容易に製作せんとする目的を以て、鉛押出室上部に熔融鉛溢出口を上部に有する截頭圓錐狀蓋を設け適當なる装置に依り該蓋を加熱急冷し得べくなし蓋を除去して上方よりプランジヤを鉛押出室内に押入すべくせる鉛押出装置。

**鐵管鑄造用鑄型鑄造装置に於ける原型引抜始動装置** (10年特許公告第 3689 號、公告 10-9-2、大阪市、久保田權四郎) 原型を鑄型より容易に引抜き得る簡單なる装置を得んとする目的を以て鑄型枠と之に嵌挿したる原型との間に型砂を供給搗固したる後原型を引抜装置に依りて引抜く形式の鐵管鑄造用鑄型製造装置に於て原型の下端より突出して鑄型枠を支持する臺板に係合し得る唧子桿を有する唧子を原型内に設け該唧子を適時原型内に供給し得べくなしたる壓力流體に依りて原型に對し下方に移動せしめ該運動に依りて原型を鑄型枠に對し引抜方向に移動し得べくなしたることを特徴とする原型引抜始動装置。

**壓延輾子鑄造法** (10年特許公告第 3690 號、公告 10-9-2、京都市、川那部滿之輔) 瓦斯拔良好にして且つ龜裂を生ずるの虞無く胴部内に中軸を安全に鑄包み得る目的を以て、壓延輾子の中軸を豫め韌性に富める鋼質材の類にて製作し其外周に縱に數條の凹凸を設け且つ數條の中子を接着せしめ之を胴部鑄造用の外型内に支持して胴部鑄鐵内に鑄包み然る後中子を除去することを特徴とする壓延輾子鑄造法。

**鐵製器物に Cr, Ni, Sn, Pb, Au, Ag, Cu, 眞鍮, Co 又はブロンズ電鍍を施す方法** (10年特許公告第 3708 號、公告 10-9-2、大阪市、牧田至弘) 前記各種電氣鍍金の鐵類に對する防銹力を強大ならしむる目的を以て、軟鐵、鋼鐵、鑄鐵、可鍛鐵等の鐵類製器具を Zn 60%、Sn 20%、Pb 20% の合金の熔融物中に入れて該合金の鍍金を施したる後ゼラチン又はグリセリンを含む水銀鹽溶液

の中に浸漬して表面にアマルガムの層を作り更に公知方法にて Cr, Ni, Sn, Pb, Au, Ag, Cu, 眞鍮, Co 又はブロンズ電鍍を施す方法。

**磷酸礬土鑄よりアルミナ製造法** (10年特許公告第 3711 號、公告 10-9-4、東京市、大日本人造肥料株式會社) 磷酸礬土鑄の如き産額豊富にして利用の途乏しき原料より弗化ソーダを循環的に反覆本操作に利用し極めて簡單且經濟的に金屬 Al 原料となすに足る純アルミナを製造し併せて副産物として磷酸を有用なる鹽類として回收せんとする目的を以て、磷酸礬土鑄を焙燒し又は焙燒せずして磷酸にて處理し弗化曹達とアルミン酸曹達とに分解し弗化曹達は濾別回収し濾液中のアルミン酸曹達は常法の如く炭酸瓦斯を通して水酸化 Al を沈澱せしめ之を濾別焙燒し純アルミナを經濟的に製造すると共に副産物として磷酸を有用なる鹽類として回収する磷酸礬土鑄よりアルミナ製造法。

**管體遠心力鑄造金棒起伏装置** (10年特許公告第 3725 號、公告 10-9-4、大阪市、久保田權四郎) 管體遠心力鑄造金棒を容易且迅速に起伏し得る簡單なる装置を得んとする目的を以て、縱方向に移動し得べくなしたる臺棒と中程を横軸を以て前記臺棒に樞支したる全棒支持とより成り該支持の一端部を連棒を以て固定點に連結して成る管體遠心力鑄造金棒起伏装置。

**鑄鐵管砂落機械** (10年特許公告第 3752 號、公告 10-9-6、大阪市、久保田權四郎) 鑄造鐵管を鑄型中より容易且迅速に取出し得る機械を得んとする目的を以て、鑄造鐵管を保持する型枠を略水平に支持せしむる装置と一個所又は數個所の位置に於て型枠内に其一端より壓搾空氣吹管を挿入せしむる装置と鑄鐵管を型枠より強力を以て取出す装置とより成る鑄鐵管砂落機械。

特許拔萃

特許 番號	名 稱	特 許 權 者	公告拔萃揭 載本誌番號
111314	黄金色合金	茨 木 康 之	第 3 年 29 號
111404	含磷物質を以て金屬或は合金より酸素を除去する方法	メタロヘー、ミツシエ、フアブクリ、アクチエンゲゼルシャフト	第 3 年 18 號
111430	浮遊選鑛法に依る濕式選炭法	ゲラルト、ヤン、デ、ヴェーイズ	第 3 年 1 號
111436	凝膠燃料又は膠質燃料製造法	望 月 脩 二	第 4 年 2 號
111525	人造絹絲紡出用嘴頭	株式會社 川西機械製作所	第 4 年 12 號
111494	含トリウム・タンゲステン體の製作方法	東京電氣株式會社	第 8 年 11 號
111515	所謂酸化鐵或は所謂澱物を硫黃と熔融して鍍を造り濃密する方法	小 室 靜 夫	第 27 年 3 號
111597	電 纜 鉛 被	シーメンス、シュツケルトウエルケ、アクチエンゲゼルシャフト	第 4 年 1 號
111614	混炭油製造法	海 軍 大 臣	第 4 年 24 號
111615	高力特殊鑄鐵	海 軍 大 臣	第 4 年 30 號